



第44回 令和5年度 定期決算総会議案

令和5年度 事業報告書 正味財産増減計算書 貸借対照表 財産目録



日時：令和6年6月5日（水）AM 9：25 受付

場所：赤羽会館 北区赤羽南1-13-1 電話03-3901-8121

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

東京都台東区根岸5丁目13-9 帝都ビル9階 電話03-5830-7131

第44回 令和5年度 決算総会式次第

司会 高見由紀子

午前9時50分～

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 開会の辞 | 石倉昌則 |
| 2. 会長挨拶 | 室井邦春 |
| 3. 来賓祝辞 | |
| 4. 議長選任 | |
| 5. 定数報告及び議事録署名人の指名 | |
| 6. 議案審議 | |
| 第一号議案 令和5年度事業報告承認の件 | 岩瀬一郎 |
| 第二号議案 令和5年度決算報告承認の件 | 岡田譲治 |
| 監査報告 | 森下克則 |
| 第三号議案 その他 | 岩瀬一郎 |
| 第四号議案 役員改選 | 岩瀬一郎 |
| 7. 表彰状授与 | |
| (1) 永年勤続者表彰 | |
| ・配置販売業者表彰 | |
| ・優良配置販売業者表彰 | |
| (2) 受賞者代表謝辞 | |
| 8. 閉会の辞 | 石倉昌則 |

注: 正午より

第三回 資質向上講習会 午前11時45分受付 正午～午後5時

内容 : 第5章 一般用医薬品の適正使用・安全対策

第4章 薬事関係法規・制度・医薬品販売の最新情報

講師 : 東京医薬看護専門学校 薬業科 講師 庄司良文 先生

東京都病院薬剤師会 元副会長

(有)丈夫屋顧問

今泉真知子 先生

スローガン

◎先用後利の精神に則り都民の保健衛生向上に寄与しよう。

◎配置薬によるセルフメディケーションを推進し、地域医療に参入しよう。

ごあいさつ

会長 室井邦春

当東京都医薬品配置協会は、昭和55年4月（任意団体として昭和27年11月に発足）に社団法人として設立され、令和5年度の決算総会で44回目を迎えました。先人が事あるごとに知恵を出し、汗して努力を重ね、試練を乗り越えてきたことを思い、今後も強く守り続けたいと考えます。

1690年（元禄3年）、江戸城松の廊下に相對する帝鑑の間において、三春藩主・秋田輝季が激しい腹痛を訴えたため、その場に居合わせた前田正甫公が携帯していた反魂丹を服用させたところ、すぐに腹痛が治まった。これを見ていた諸大名がこの薬効に驚き、自分たちの藩内での販売を頼んだ。正甫公は反魂丹の品質、信用を保つため富山藩内に反魂丹役所を組織して「先用後利」で諸大名の要望に応えたといわれている。このころより配置販売の歴史は300年以上になるわけです。その当時からセルフメディケーション推進、地域医療の向上に貢献していたわけです。伝統的な歴史を有する配置販売の伝統を守り続けましょう。

会員全てが資質向上講習会を受講した上で、さらに自己研鑽を積み、東京都民の初期治療に大きく貢献されることを願って止みません。

今般、長年の懸案であった東京都における100ml栄養ドリンク販売制限という措置がようやく解除とすることができました。配置販売業者の団体として多くの要望を吸い上げたく東京都一円販売対象とする配置に携わる配置業者・配置従事者全員が、全国配置薬協会傘下の当協会の会員となり、業界団体としての力が発揮しやすいよう未加入の方には強力に加入を勧めていただきたいと思います。

会員の皆様の一層の深いご理解とご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般社団法人東京都医薬品配置協会

[概況]

令和元年12月、武漢市衛生当局が中国湖北省武漢市での原因不明肺炎の発生を発表。後に WHO より COVID-19、日本では新型コロナウイルス感染症として扱われ世界的な大流行となりました。日本においては令和2年1月、国内で初めての感染者を確認。その数日後には屋形船での新年会でクラスター発生(東京都)。令和5年1月前後の第8波を最後に、東京都では令和5年5月に隔離のための宿泊療養を終了、国では令和5年8月に新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止/新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、「新型インフルエンザ等感染症(2類相当)から「5類感染症」に移行、令和6年3月末で公費支援が全面撤廃となりました。

令和4年2月から北京で冬季オリンピック・パラリンピックが感染症対策下で開催されました。冬季オリンピック終了後(パラリンピック前)には国連の常任理事国であり、核保有国のロシアによるウクライナへの軍事侵攻があり、2年以上に亘り、未だに戦闘継続中です。

令和5年10月、パレスチナのイスラム組織ハマスが、ロケット弾や戦闘員の侵入によってイスラエルへの大規模な攻撃を仕掛け、未だに戦闘中です。

令和5年5月5日の能登半島沖・震度6強の地震を皮切りに、同日に再び能登半島沖で震度5強、11日は千葉県南部で震度5強、13日はトカラ列島近海で震度5弱、22日に新島・神津島近海で震度5弱、26日に千葉県東方沖で震度5弱と、6回の震度5弱以上の地震が起きました。令和6年1月1日、能登半島で震度7の地震が発生(気象庁による正式名称は「令和6年能登半島地震」)。

約100年前については毎年のように述べておりますが、第一次世界大戦という「戦争」中にスペイン風邪といわれる「疫病」が世界的に流行し、その後に時の総理大臣原敬が東京駅で「暗殺」され、101年前の大正12年に関東「大震災」が発生しました。社会インフラといわれる電気、ガス、水道の供給が途絶え、物流の停滞がもたらす影響を考慮し、数日間は持ちこたえられる備えと対策が必要でしょう。特に現代社会においては、食料、物品の購入にも、さらに冷暖房も電気なしでは成り立たなくなっております。

立法面で特筆事項として LGBT 理解増進法が昨年6月に成立し、同月に施行されました。LGBT に関する基礎知識を広げることで国民全体の理解を促し、国や企業、自治体の努力を求める理念法です。今後いろいろな問題が発生するでしょう。

今年3月、小林製薬は、紅麹を使った機能性表示食品を自主回収すると発表しました。摂取した消費者から腎疾患などの健康被害が発生したためです。また、死亡者もでています。さらに紅麹を健康食品、菓子類、みそ・調味料・豆腐、酒類・甘酒、その他食品メーカーにも卸しておりました。

長年の懸案であった東京都のみに課せられていた100ml栄養ドリンクの販売制限を解除することができました。新年度より実施となります。

当協会の行事面では、資質向上講習会は平時と同様に開催できましたが、行政への協力事業は東京都委託講習会を除いて滞っております。

今後とも会員各位の一層の備えを、また当協会へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

I 会議等

1. 令和4年度決算総会

令和5年6月7日(水) 赤羽会館小ホール

- (1) 令和4年度 事業報告、決算報告を承認

2. 令和6年度予算総会

令和6年3月6日(水) 赤羽会館小ホール

- (1) 令和6年度 事業計画、収支予算案を承認

3. 理事会

5月15日 ①監査会②決算承認、決算総会、協会会長表彰の件③資質向上講習の件
④その他、行事の件

2月1日 予算(案)総会資料検討確定

II 事業内容

1. 教育事業

- (1) 薬事講習会: 東京都より委託 令和5年11月5日(日) 都民ホールにて

◎「最近の薬務行政について」

講師: 東京都保健医療局健康安全部薬務課長 中島 真弓 先生

◎「配置販売業に係る法令について」

講師: 東京都福祉保健局健康安全研究センター 広域監視部薬事監視
指導課事審査担当主任 大崎 華奈枝 先生

◎「身近にある有毒植物」

講師: 元東京都薬用植物園園長 北川 重美 先生

- (2) 一定水準30時間資質向上薬事講習会

例年の通り4月、6月、3月に開催。

4月12日 赤羽会館小ホール

第3章 主な医薬品とその作用

東京医薬看護専門学校薬業科 庄司良文 先生

6月7日 赤羽会館小ホール

第5章 一般用医薬品の適正使用・安全対策(3時間)

東京医薬看護専門学校薬業科 庄司良文 先生

第4章 薬事関係法規・制度、医薬品販売の最新情報

第7章 区域の管理に関する事項(令和4年4月より追加)

東京都病院薬剤師会 元副会長 (有)丈夫屋顧問 今泉真知子 先生

3月6日 赤羽会館小ホール

第6章 リスク区分等の変更があった医薬品について

第7章 区域の管理に関する事項

第8章 配置販売業者に求められる理念・倫理・関連法規

元東京都薬務課、元東京都薬用植物園園長 北川重美先生

第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識

第2章 人体の働きと医薬品

東京都病院薬剤師会 元副会長 (有)丈夫屋顧問 今泉真知子 先生

2. 都民に対する薬事知識の普及啓発事業

(1) おきぐすり相談窓口 相談件数、今年度0件

3. 薬務行政協力事業

(1) 麻薬・覚せい剤撲滅運動に対する協力

6月東京都主催「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集いは縮小開催

11月麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会-東京大会は縮小開催

ともに参加なし

(2) 献血協力(配置薬の日) 7月30日新宿東口献血ルーム

(10:00-16:00 広報含む)

4. 配置薬業向上改善事業

(1) 関係団体会議他出席

令和5年5月22日 関東ブロック会定期総会(場所:群馬)

令和5年11月16日 関東ブロック会定期総会(場所:群馬)

令和5年6月23日 全配協 全配協理事会、配置部会幹事会
(場所:東京都浜松町)

令和5年11月27、28日全配協 全配協理事会、配置部会幹事会
(場所:東京都浜松町)

令和6年1月 (公社)東京都薬剤師会新年賀詞交歓会 欠席

(公社)東京都医薬品登録販売者協会 出席

以上

第二号議案

令和5年度 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(第44期)

(単位：円)

	決算額			備 考
	当年度	前年度	増減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	2,516,000	3,014,000	△ 498,000	予算 決算
受取会費	2,516,000	3,014,000	△ 498,000	甲 50名 甲 48名
② 受諾事業収益	354,834	398,834	△ 44,000	乙 80名 乙 73名
全配協補助金	50,000	50,000	0	
資質向上対策費助成金	94,000	138,000	△ 44,000	資質向上対策還付金(令和5年度分)
東京都委託金	210,834	210,834	0	講習会費・都より委託費
③ 雑収益	266,037	334,029	△ 67,992	
受取利息	33	25	8	定期預金・普通預金
受講料収入	266,000	334,000	△ 68,000	一定水準資質向上講習会受講料
雑収益	4	4	0	
経常収益計	3,136,871	3,746,863	△ 609,992	
(2) 経常費用				
① 事業費				
i 指導教育に関する事業費	1,287,537	1,306,320	△ 18,783	
(i) 講習会費(協会)	475,929	547,338	△ 71,409	
講師料	160,000	185,000		一定水準資質向上講習会
賃借料	64,500	64,500		3回実施。併せて134名参加
旅費交通費	48,050	54,920		外部講師料・交通費・印刷製本
通信運搬費	8,737	18,778		会場費・付帯設備費等
印刷製本費	72,785	77,478		テキスト印刷製本等
費用弁償	121,000	135,550		
記録費	350	6,000		
雑費	507	5,112		
(ii) 東京都委託講習会費	209,648	181,642	28,006	
講師料	40,000	40,000		外部講師講演料
賃借料	0	0		資料送付で実施。222名・社
旅費交通費	22,370	14,170		外部講師料・打合せ交通費
通信運搬費	34,853	48,042		案内等

印刷製本費	30,087	23,230		テキスト印刷製本等
費用弁償費	82,000	56,000		資料印刷費は別科目
記録費	0	0		
雑費	338	200		
(iii) 給料手当	0	0	0	
給料	0	0		
(iv) 賃借料	601,960	575,540	26,420	
賃借料	601,960	575,540		全賃借料の2/3
(v) 表彰費	0	1,800	△1,800	
記念品費	0	1,800		優良配置業者表彰
旅費交通費	0	0		永年勤続者表彰
通信運搬費	0	0		
印刷製本費	0	0		
費用弁償費	0	0		
分担金	0	0		表彰祝賀会分担金として
ii 薬事知識普及啓発のための事業費	85,200	85,200	0	
(i) 都民への薬草勉強会費	0	0	0	
広告宣伝費	0	0		薬草勉強会 都民参加
旅費交通費	0	0		実費交通
通信運搬費	0	0		費
印刷製本費	0	0		都立薬用植物園に於いて
費用弁償費	0	0		都民に呼びかけて開催
記録費	0	0		
雑費	0	0		
(ii) 都民、消費者への情報開示費	85,200	85,200	0	
インターネット通信費	85,200	85,200		ホームページ運営
iii 薬事衛生事業への協力費	37,510	36,008	1,502	
(i) 献血促進活動費	37,510	36,008	1,502	
旅費交通費	4,980	2,340		お手伝い者実費交通費
通信運搬費	0	4,688		お手伝い者・協力者お礼
費用弁償費	15,000	6,000		
記録費	0	0		
雑費	17,530	22,980		
(ii) 麻薬撲滅活動協力費	0	0	0	
旅費交通費	0	0		「6・26 国際麻薬乱用撲滅」
通信運搬費	0	0		都民の集い 不参加
寄贈費	0	0		「麻薬・覚せい剤乱用防止運
印刷製本費	0	0		動」都民大会 不参加
費用弁償費	0	0		無観客で参加中止

記録費	0	0		
iv 相談事業費	0	1,000	△ 1,000	
(i) 電話相談費	0	1,000	△ 1,000	今年度電話相談 0 件
通信運搬費	0	1,000		
v 支部活動事業費	0	0	0	
(i) 支部活動事業費	0	0	0	
東部支部	0	0		3 支部活動費
西部支部	0	0		
多摩支部	0	0		
vi 情報収集及び刊行物発行費	0	0	0	
(i) 機関紙発行費	0	0	0	
費用弁償費	0	0		
通信運搬費	0	0		
印刷製本費	0	0		
vii 上部団体会議費	116,120	54,240	61,880	関係団体へ出席
(i) 全配協会議費	21,000	10,000	11,000	
会議費	6,000	0		会議費、交通費 他
旅費交通費	0	0		全配協の理事として出席 交通費は全配協支出
費用弁償費	15,000	10,000		
(ii) 関東ブロック会会議費	95,120	44,240	50,880	
会議費	0	0		会議費、交通費 他
通信運搬費	0	0		6 月、11 月
旅費交通費	65,120	9,240		
費用弁償費	30,000	35,000		
viii その他の事業	0	0	0	
(i) 関東ブロック東京大会	0	0		
事業費計	1,526,367	1,482,768	43,599	
②管理費				
費用弁償費	399,250	439,450	△ 40,200	役員・他団体との会議・理事事務所作業
給料手当	0	0	△ 0	
厚生費	0	0	0	
全配協負担金	70,500	82,500	△ 12,000	
関東ブロック会負担金	30,000	30,000	0	
新聞図書費	81,400	92,400	△ 11,000	
旅費交通費	71,860	92,340	△ 20,480	理事事務所作業、会計チェック等 実費交通費

通信運搬費	33,627	41,239	△ 7,612	総会案内送料
什器備品費	0	0	0	
消耗品費	15,594	48,777	△ 33,183	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	8,253	22,313	△ 14,060	総会資料
水道光熱費	47,504	51,177	△ 3,673	
賃借料	300,990	287,780	13,210	事務所・コピー機リース料 全賃借料の1/3
手数料	192,432	155,526	36,906	山田会計顧問料・会費徴収手 数料・振込手数料
損害保険料	6,990	15,500	△ 8,510	
租税公課	70,600	81,000	△ 10,400	都民税等
雑費	63,700	0	63,700	他団体との会議等・慶弔費
管理費計	1,392,700	1,440,002	△ 47,302	
経常費用計	2,919,067	2,922,770	△ 3,703	
当期経常増減額	217,804	824,093	△ 606,289	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	217,804	824,093	△ 606,289	
一般正味財産期首残高	4,873,225	4,049,132	824,093	
一般正味財産期末残高	5,091,029	4,873,225	217,804	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	5,091,029	4,873,225	217,804	

貸借対照表

令和6年3月31日

(第44期)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金	295,104	372,025	△ 76,921
普通預金	2,986,131	1,662,211	1,323,920
振替貯金	1,223,843	2,451,255	△ 1,227,412
当座預金	589	589	0
定期預金	1,000,221	1,000,204	17
仮払金	47,108	47,108	0
流動資産合計	5,552,996	5,533,392	19,604
2.固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154	95,154	0
保証金	40,200	0	40,200
固定資産合計	135,354	95,154	40,200
資産合計	5,688,350	5,628,546	59,804
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	256,000	428,000	△172,000
預り金	341,321	327,321	14,000
流動負債合計	597,321	755,321	△ 158,000
負債合計	597,321	755,321	△ 158,000
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産	5,091,029	4,873,225	217,804
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	5,091,029	4,873,225	217,804
負債及び正味財産合計	5,688,350	5,628,546	59,804

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却について
該当なし
- (3) 引当金の計上基準について
該当なし
- (4) 消費税等の会計処理方法について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正 味財産から)	(うち一般正 味財産から)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

6 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

令和 6 年 3 月 31 日

(第 44 期)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現 金 現金手許有高	295,104		
普通預金 三菱 UFJ 銀行日暮里支店	2,986,131		
振替貯金	1,223,843		
当座預金 三菱 UFJ 銀行日暮里支店	589		
定期預金 三菱 UFJ 銀行日暮里支店	1,000,221		
仮 払 金 決算総会会場費等	47,108		
流動資産合計		5,552,996	
2. 固定資産			
(1)基本財産	0		
(2)特定資産	0		
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154		
保 証 金 帝都医薬品配置協同組合	40,200		
固定資産合計		135,354	
資 産 合 計			5,688,350
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費 令和 6 年度分	256,000		
預り金 全配協費預り	341,321		
流動負債合計		597,321	
負 債 合 計			597,321
正 味 財 産			5,091,029

監 査 報 告 書

理事会により提示のありました事業報告書及び会計帳簿その他証憑、書類等を監査致しました結果、適正且つ正確であることを確認いたしました。

令和 6 年 5 月 6 日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監事 高見由紀子


監事 森下克則

監 査 報 告 書

令和6年5月6日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会
会長 室井邦春 殿

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 高見由紀子 監 事 森下克則 

私たち監事は、令和6年5月6日に、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度における会計及び公益目的支出計画実施報告書の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- (1) 決算書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な検査、立会、照合及び報告の聴取その他通常とすべき必要な方法を用いて監査した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款(寄附行為)に違反する重大な事実はないと認めます。
- (4) 公益目的事業の実施が適正に行われたことを認めます。

以上

表彰状授与

☆	薬事功労賞受賞者芳名	該当なし
	東京都功労者表彰	該当なし
☆	令和5年度 優良配置業者表彰者	
	東 部 支 部	該当なし
	多 摩 支 部	該当なし
	西 部 支 部	該当なし
☆	永年勤続者賞	
	配置販売業者	勤続40年 石倉昌則
	配置従事者	該当なし

会費等納入のお願いの件

本会は昭和 55 年 4 月の社団法人設立以来、今日まで医薬品のもつ倫理性及びその公益性に対する会員の皆様の充分なご理解と軽度の疾患に対するセルフメディケーションの推進並びに、その知識の啓発を通して地域住民の保健衛生確保のため努力を重ねてまいりました。本年もこの趣旨に沿い、各事業等を実施しており、これらの費用は会費をもって賄われております。

何卒上記ご理解の上、会費等の納入をお願い申し上げます。

※公益事業を円滑に遂行します上からも会費納入が未だされていない場合は納入の程お願い致します。

令和 6 年度 納入会費等

項目		金額
1.協会費(身分証1枚毎)	甲	22,000 円
	乙	20,000 円
2.全配協賦課金		
体質強化費	甲、乙共	800 円
政治連盟費	甲、乙共	200 円
資質向上対策費	甲、乙共	3,000 円
合計(上記 1.+2.)	甲	26,000 円
	乙	24,000 円

※ 全配協賦課金は、他の道府県にて納入している場合は必要ありません。

この場合は 2.全配協賦課金を除く額、即ち 1.協会費 となります。また、体質強化費、政治連盟費は金額が変わりましたが、総額は変わりません。